

はじめに



この度、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「富士市第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定いたしました。『支え合い思い合い、安心して暮らし続けられる地域づくり』を基本理念として掲げ、目標とする高齢者像は、今までの計画を受け継ぎ「活力と魅力ある85歳」とし、その名称を『ふじパワフル85計画VI』といたしました。

本市においては、高齢化率が27%を超えており、これからも上昇していくことが見込まれます。高齢化の進行に伴い認知症高齢者の増加も予想されることから、認知症は誰もがなりうる身近なものとして、その対策の重要性は以前より高まっております。また、新型コロナウイルス感染症が流行したり、毎年のように大規模な自然災害が発生したりしていることから、緊急時においても、円滑に高齢者福祉施策を実施できる体制づくりが求められます。

このため、本計画では、従来の「自立支援、介護予防・重度化防止の推進」「医療・介護の提供体制の整備」「地域包括支援センターの機能強化」に加えて、新たに「認知症施策の推進」と「緊急事態時の対応体制の整備」を重点的な取組として位置づけました。

本計画の取組により、住まい、医療、介護、介護予防及び生活支援の包括的な支援、地域社会への参画を促進する体制整備など、重層的な支援が進み、「地域包括ケアシステム」の構築、ひいては「地域共生社会」の実現にまで広がることを期待しております。

結びに、本計画の策定にあたり、様々な視点からご審議いただきました「富士市介護保険運営協議会」の委員の皆様をはじめ、各種調査にご協力いただきました市民の皆様並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和3年3月

富士市長 小長井 義正